

施策評価シート (平成24年度の振り返り、総括)

作成日 平成25年 06月 26日

施策 No.	14	施策名	男女共同参画社会の実現
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7151
関係課名	秘書課, 企画課, 総務課, 三つ子の魂育成推進室, 健康増進課, 福祉課, 児童家庭課, 商工観光課, 農政課, (社会福祉協議会)		

施策の対象	・市民 ・市内事業所数(事業所・経済センサス(平21)による)								
対象指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度見込
人口	人				82,997	82,584	82,136	81,511	85,500
事業所数	個所				3,784 (H21)	3,784 (H21)	3,784 (H21)	3,784(H21)	

施策の意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の固定的役割分担意識が解消される。</li> <li>・あらゆる分野で男女共同参画が確保される。</li> </ul>								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法(算定式など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合」は、市民意向調査の集計結果</li> <li>・「委員会・審議会などの女性委員構成割合」は、市総務課で調査した「附属機関等の委員の構成調べ」の女性の占める割合</li> </ul>								
成果指標名	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	26年度基本計画目標値
男女の固定的役割分担意識は解消されていると感じている市民の割合	%				72.2	67.5	67.1	72.3	75.0
委員会・審議会などの女性委員構成割合	%				25.4	27.5	26.8	24.4	30.0

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	<p>市民は一人一人が男女平等意識を持ち、生活の中で男女共同参画の実践に努める。                  行政は、市民に対する意識啓発と率先した男女共同参画を推進する。</p>
-------------------------	---

<p>24年度の 評価結果</p>	<p>1. 施策の成果水準とその背景（近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること）</p> <p>(1) 施策成果の時系列比較（過去3年間の比較）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意向調査で、男女の固定的役割分担意識が解消されていると感じる市民の割合は72.3%で、前年に比べ5.2ポイント向上した。</li> <li>・委員会・審議会などの女性委員の構成割合は24.4%で、前年度に比べ2.4%ポイント低下した。</li> </ul> <p>(2) 近隣他市との比較</p> <p>栃木県「男女共同参画社会に関する意識調査」（平成22年調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定的役割意識が解消されている割合：66.5%</li> <li>・委員会・審議会における女性委員の割合：29.6%</li> </ul> <p>小山市「男女共同参画に関するアンケート調査報告書」（平成22年調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定的役割意識が解消されている割合：54.5%</li> <li>・委員会・審議会における女性委員の割合：38.4%</li> </ul> <p>・本市の固定的な役割分担意識が解消されている割合は、他市と比べてやや高い傾向にあるが、委員会・審議会の女性委員構成割合の比較では、低い数値である。</p> <p>(3) 住民期待水準との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意向調査で、まちづくりに力を入れてほしい施策のうち「男女共同参画社会の実現」の割合は、平成22年度は2.3%、23年度は3.6%、24年度は3.0%で、ほぼ同水準である。</li> </ul>
	<p>2. 施策の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み（事務事業）の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画」の策定にあたり、真岡市男女共同参画審議会を2回、真岡市男女共同参画社会づくり市民会議を3回、庁内推進会議を3回開催し、平成24年3月に計画書を発行した。</li> <li>・平成23年度から、啓発事業として「真岡市男女共同参画情報紙」を市民会議委員と協議し、編集を行い、平成24年3月に創刊号、平成25年3年に第2号を発行し、市内全戸に配布し周知に努めた。</li> <li>・平成24年度の地域座談会は、15回（延べ参加者：412人）実施した。</li> <li>・市主催事業は、「真岡市男女共同参画社会づくり講演会」を開催し130名が参加した。女性団体連絡協議会の事業は「市民のつどい」を開催し150名が参加した。</li> <li>・団体の育成として、各地区婦人会、女性団体連絡協議会・市婦人会連絡協議会への活動支援を行っている。</li> <li>・県主催事業の「女性教育指導者研修」に2名派遣、「女性政策塾」に1名派遣し、研修の支援を行った。</li> <li>・真岡市男女共同参画推進事業者（企業、個人事業者、自治会、市民団体等）に表彰募集を市広報、ホームページ、会議所だよりに掲載し、その他、真岡市工業団地総合管理協会、二宮商工会等に資料を配布した。</li> </ul> <p>平成24年度は、独自の取り組みが評価され、本市で、初めてとなる1事業者が、表彰された。</p>

3. 施策の課題認識と改革改善の方向

- ・男女共同参画社会づくりの推進として、引き続き地域座談会と企業への出前講座を開催し、家庭や地域、職場の男女共同参画の普及啓発を図っていく。
- ・「第2次真岡市男女共同参画社会づくり計画」に基づき推進事業を行い、男女共同参画社会の早期実現を図っていく。
- ・男女共同参画推進のための、取組みを積極的に行っている事業者（企業、個人事業者、自治会、市民団体等）を表彰し、広く市民に本施策の周知を図る。
- ・付属機関等の委員構成において、女性委員の増員を図る。

24年度の  
評価結果

補足事項